

ピックアップ **FAMIC**

さいたま本部 認定センター 認定審査課

ASIA PACIFIC ACCREDITATION COOPERATION (APAC)

ANNUAL MEETINGS 2024

DUBAI, UNITED ARAB EMIRATES
15TH FEBRUARY 2024



APAC (アジア太平洋認定協力機構)
の2024年の総会出席時の一枚
JASaffは、製品認証分野で国際相互
承認協定を締結しています。

JASaff(ジャサフ)認定業務で農林水産・食品分野の信頼を支え、見守る

JASaff認定制度の運用～農林水産・食品分野の認定～

認定審査課では、農林水産分野の国際競争力強化の一環として設立された、FAMIC 認定センター (JASaff: Japan Accreditation Service for agriculture, forestry and fisheries) の認定業務を行っています。

JASaffは、農林水産分野の製品認証を行う認証機関や食品分野の試験を行う試験所を対象に、国際規格であるISO/IEC17011のルールに従い認定を行う認定機関です。「認定」とは何かについては、6ページをご覧ください。



JASaffロゴ

認定審査業務～認証機関や試験所をチェックし見守る～

立会審査

認証機関の審査員が実際に食品業者などを審査する場に立ち会って、適切に審査が行われているかチェック



事業所審査

認証機関や試験所のオフィスで聞き取りや記録の確認、実際の試験のデモンストレーションの観察などでチェック



認証スキーム(規格など)の評価

認証機関を新たに認定する前に、規格などの認証スキームが国際規格のルールを満たしているかチェック



▶ JASaffが評価した認証スキームと認証機関

<http://www.famic.go.jp/jasaff/product/#list>

立会審査や事業所審査は1～2年に1回の頻度で継続的に行うほか、常に国際規格のルールを満たしているかについて、1年を通じて様々なチェックを行い、追加で事業所審査を行うこともあります。

審査品質・信頼性の確保

前のページでご紹介した審査業務の信頼性確保には、審査を行う審査員の力量(規格の知識、審査を適切に行う技能など)が重要です。

認定審査課では、審査員向けに毎年研修を開催するほか、外部の研修機関が開催する研修へも職員を参加させ、審査員資格の登録を行うなど、審査員の力量の管理も行っています。このようにして、審査の品質・信頼性の確保に取り組んでいます。

国際相互承認 ～信頼を世界へつなぐ架け橋～



JASaffは製品認証分野で国際相互承認協定を締結し、国際的に同等な信頼性の高い認定機関だと認められています。「国際相互承認」については、6ページをご覧ください。JASaffでは日常的に国際機関の情報を確認するほか、毎年、認定機関が集まる国際会議に出席し、情報収集や意見交換を行うとともに、4年に1度国際的な審査を受け、相互承認の維持に取り組んでいます。

これらの活動を通じて、JASaffが認定した認証機関の国際的な信頼性が高まり、認証製品の輸出促進・国際競争力向上が期待できます。



審査員向けの研修の様子



認定機関間の国際的な会議の様子

JASaff認定の活用事例～日本初の有機水産養殖～



事例の解説図

JASaff認定の活用事例として、有機水産養殖の認証を紹介します。日本で初めて有機水産養殖魚に関する規格を開発した認証機関をJASaffが認定し、認証機関が有機水産養殖魚の生産者を認証、大手回転寿司チェーンが流通させている事例です。

JASaffは国際的な基準に基づきスキームを評価し、認証機関を認定しました。認証された生産者や流通業者は、養殖魚の海外への輸出や海外の回転寿司店での提供も視野に入っています。国際相互承認協定を締結したJASaffの認定により、国内外の取引先に対し、国際的な信頼性をアピールすることが可能となります。

Comment



国際的な信頼性の確保のために

認定審査課が運営しているJASaffは、公的認定機関として、農林水産・食品分野における製品認証機関及び試験所を国際規格に基づいて認定し、試験データの信頼性や製品の品質を支えています。

(認定センター 認定審査課長)